



## 京都文化創生機構 NEWSLETTER

# SPACE 京都通信 2018年2月号

発行所 606-8243 京都市左京区田中東高原町 28-1 SPACE 京都 京都文化創生機構

電話 075-781-9699 FAX075-791-2219 E-mail:lifelong@live.jp

\*\*\*\*\*

### みんなで語ろう 葎屋町で 2018年度事業企画

早春2月、年度末。皆さま、お忙しくお過ごしのことと拝察申し上げます。  
おかげさまで京都文化創生機構は、4月からリニューアル3周年目を迎えます。  
文化庁支援事業受託を重ねた京都文化創生実行委員会が、NPO 法人京都生涯教育研究所から独立した団体として、改組・改称いたしまして。生涯教育45年の活動を踏まえ、いまは「学び手」より「創り手」の時代であるという考えからです。そこで、「創り手」の皆様に一層、輝いて頂く場の創出を、一緒に考えたいと思います。

明治維新150周年に当たる本年、かつて応仁の乱や信長による焼き打ちによる荒廃を乗り越え、2019年に区制140周年を迎える上京区の一画、西陣葎屋町において、京都文化創生機構のこれからについて、皆さまのご意見をお伺いしたいと思います。このほど、葎屋町にお住いやお仕事先のある方々が、相次いで当機構の会員となられ、この地域の振興と他地域との交流をはかるプロジェクトが結成されました。京都府各地域や他府県ご在住の会員の方々と、当機構にお心をお寄せいただく内外の方々との交流の機会となれば、何よりも存じます。ご参加を、心から期待申し上げます。

京都文化創生機構 理事長 富士谷あつ子

### 西陣葎屋町・堀川通り地域振興プロジェクトメンバー



新川達郎・顧問  
(同志社大学大学院教授)



富士谷あつ子・理事長  
(評論家)



佐野春仁・評議員  
(京都建築専門学校校長)



横山真由美・評議員  
(染花作家)



京都建築専門学校 葭屋町分校（まちや校舎）

日時：2018年2月17日(土)17時～19時

会場：京都建築専門学校 葭屋町分校 市バス「堀川下立売」下車西へ1筋  
(京都市上京区葭屋町通下立売通下る丸屋町260 電話075-803-4645)

参加費：500円(サンドウイッチとお茶代)

#### プログラム

開会挨拶；富士谷あつ子「2017年度事業をかえりみ2018年度事業へ」  
塚本利幸「シニアのボランティア活動研究から」  
(京都文化創生機構監事・福井県立大学教授)

メッセージ：新川達郎・顧問

呼び掛け：横山真由美「葭屋町からの出発」(仮題 京都文化創生機構評議員)

話題提供：佐野春仁(京都建築専門学校校長・京都文化創生機構評議員)

吉田匡廣(染色作家)

富士松松栄太夫(新内語り、作家：日本文芸家協会会員)

鈴木雪弥(イラストレーター)他

質疑応答：参加者全員

# みんなで語ろう西陣・葎屋町のこれから

地域福祉・地域振興に取り組む中で



## 講演 1 戦乱と西陣

講師：宇野日出生氏（京都市歴史資料館主任研究員）

## 講演 2 一条戻り橋について

講師：松村泰廣氏（郷土史家）

### 報告 1 葎屋町の組紐づくり

報告者：渡邊康男氏（京くみひも工業協同組合副理事長）

岡本昌之氏（京くみひも工業協同組合監査）

### 報告 2 地域の高齢化とライフプラン 報告者：藤田友輝氏（理学療法士）

提案 夢いっぱい葎屋町 横山真由美氏（染花作家）他

### 参加者による意見交換

コーディネーター：佐野春仁氏（京都建築専門学校校長）

コメンテーター：富士谷あつ子氏（評論家・京都文化創生機構理事長）

総合司会：後藤安子氏（京都光華女子大学講師）

展示：染花・組紐・アールブリュット小袖・絵ハガキ

日時：平成 30 年 1 月 20 日（土） 13:30（開場 13:00）

参加費：500 円（資料代込）

会場：京都建築専門学校葎屋町町家校舎（京都市上京区葎屋町通下立売下ル丸屋町）

主催：京都文化創生機構 協力：京都建築専門学校

助成：京都新聞社会福祉事業団

後援：京都新聞社会福祉事業団

## 趣 旨

京都文化創生機構は、昭和45年から生涯教育推進活動に取り組んできた研究者や活動家を中心の団体ですが、近年は文化庁や京都府のご支援も受け、府下の地域文化の継承・創生・発信による地域力再生に関する事業を開催してきました。本年度からは、京都市上京区葭屋町通りに居住し、あるいは職場（教育機関を含む）を持つ会員の要望により、地域福祉と地域振興を目指す取り組みを始めることとなりました。

葭屋町通りは西陣の一角。堀川通りの一筋西に当たり、北には晴明神社があり、南に平安時代の検非違使庁跡があり、西は聚楽第跡に近く、貴重な文化遺産を背負う地域です。また和装産業にかかわる染色作家や組紐の製造などの職人も住んでおられます。さまざまな町家があり、その魅力にひかれた新住民の転入も見受けられます。しかしながら高齢化や少子化などに伴う不安を感じる人や、古い家屋の安全への配慮を願う人もいらっしゃいます。

本事業においては、地域福祉・地域振興の成功事例に学びながら、西陣・葭屋町通りの住民活動を起点として、新旧の家屋と人が共にある京都各地の望ましい姿を目指すとともに多方面の方々の出会いの機会を広げたいと思います。ご参加を心から期待申し上げます。



京都文化創生機構 理事長 富士谷あつ子

\*\*\*\*\*

協力校：京都建築専門学校



校長 佐野春仁

この度、京都文化創生機構さんのもとで、葭屋町通り 地域プロジ参画することになりました。地域の皆さまと親しく交流させていただくことを楽しみにいたしております。どうぞ、宜しく。



## フォーラム「みんなで語ろう葭屋町のこれから」会場風景



講演1「戦乱と西陣」講師 宇野日出生氏（京都市歴史資料館主任研究員）



講演2「一条戻り橋の歴史」講師 松村泰三氏（郷土史研究家）



展示品解説 吉田匡廣氏（染色作家）



報告1「葎屋町の組紐づくり」報告者（左）岡本昌之氏（京くみひも工業協同組合監査）  
（右）渡邊康男氏（京くみひも工業協同組合理事長）



報告 2 「地域の高齢化とライフプラン」 報告者 藤田友輝氏（理学療法士）



提言「夢いっぱい葎屋町」 提言者 （右端）横山真由美氏（染花作家）  
（右から 2 番目）藤原由夏氏（声楽家）  
（右から 3 番目）鈴木雪弥氏（イラストレーター）





展示作品解説 「アールブリュット小袖」 杉村紳爾氏（呉香企画代表）



手描きのカクテルドレス



染花作家の横山真由美さんが会場を飾る



フォーラム進行に当たる佐野春仁（左端）、後藤安子（右から2番目）、富士谷あつ子（右端）各氏



フォーラム会場（京都建築専門学校葭屋町まちや分校）を飾る



玄関の迎え花



一階広間の床の間の色紙と花



2 回広間の床の間の掛け軸と花

デザインは大路久美子氏（フラワーアレンジメント作家）



渡邊康男氏制作の組紐



岡本昌之氏制作の組紐



鈴木雪弥（イラストレーター）の絵葉書



フォーラム済んで歓談（京極ダイニング）

左から：藤田友輝 杉原敦子 佐野春仁  
右から：横山真由美 大路久美子 富士谷あつ子 鈴木雪弥 各氏

## 京都文化創生機構 あす初イベント

# 西陣・葎屋町の魅力発信



西陣・葎屋町の養興を自指してイベントを計画している富士谷あつ子理事長(右)と会場で染花などのアート作品を展示する芸術家たち―京都市中京区

京都市上京区の西陣・葎屋町界わいを文化と芸術で盛り上げようと、学識者や文化人をつくる京都文化創生機構は初のイベント「みんなで語ろう西陣・葎屋町のこれから」を上京区葎屋町通下立売下ルの京都建築専門学校で20日午後1時半から開く。講演会や展示会で葎屋町の魅力を発信する。

地域文化の継承と発信を目標とから「西陣・葎屋町通」の魅  
す同機構は本年度、葎屋町通周 力を掘り起こす。  
辺の会員の要望で地域振興に取 当日は「戦乱と西陣」と題し  
り組むことにした。周辺には聚 て市歴史資料館の宇野日出生さ  
桑第や検非違使庁があった歴史 んが講演し、郷土史家の松村泰  
があり、染色や組みひもなどの 廣さんが一条戻り橋について話  
和装産業や美麗な町家が残るこ す。組みひも業者による地場産

## 文化・芸術「出会いの場」

業の現状や理学療法士による地  
域の高齢化についての報告、意  
見交換もある。また芸術家たち  
がシルクで作った染花や風呂敷  
ドレス、小袖や絵はがきなどを  
展示して会場を彩る。

同機構は将来的に二条城から  
堀川商店街、晴明神社を葎屋町  
を通して回遊するルート作りも  
計画している。富士谷あつ子理  
事長は「葎屋町通には学者や芸  
術家、職人などいろんな人がい  
る。作品を持ち寄る出会いの場  
になればいい。今後も年3、4  
回定期的に開きたい」と話す。  
当日参加可能。500円。同  
機構075(781)9699。  
(仲屋聡)

京都新聞社の紹介 (2018年1月 日)

////////////////////////////////////

## 2018 年度事業のアイデア募集 プロジェクトによる取り組みを

////////////////////////////////////

4 月から、京都文化創生機構リニューアル 3 周年を迎えます。2 月は、2017 年度の事業のまとめと新年度の事業構想のあらましを立てる時期に当たります。2017 年度に予定しながらできなかったことと、思いがけずできたことがあります。大きな流れとして、当機構の会員の皆様は、受け身の「学び手」と言うよりも自ら進んで「創り手」になったおられる方が多いように思われます。来る 2 月 17 日には、西陣の葎屋町で懇談会が開かれ、3 月には理事会が予定されています。そこで、皆様から来年度の事業についてアイデアをご提供いただければ何よりです。下記はこれまでの事業の主なものですが、新たに企画して頂くことも歓迎します。それぞれの事業の「プロジェクト」による運営をお考え頂ければ、何よりです。京都文化創生機構内に「運営会」を設け、理事会と連携しながら事業が展開されますように。各プロジェクトの連携も、重複所属も可能です。

このニューズレターは、インターネットによるお届けが始まっており、会員の皆様からのメールやお電話が相次いでいます。大変、嬉しく存じます。各プロジェクトは独立採算制で運営され、会員全体や社会一般への広報や渉外については、事務局にご連絡ください。

皆さまのお考えを、事務局までメールか封書でお送りください。どうぞよろしく(富士谷)。

-----

### 1. 「私が京都で語る<50+α>」プロジェクト

主に 50 歳以上。京都で生まれ育った人ばかりでなく、京都に足しげく通われる方、京都に移住された方、京都に移住しようと思われる方などの自分史的事業。講演・公演・展覧会など事業形式は自由。2016 年度に実施され、2017 年度は中休み。

### 2. 「シニアが拓く地域振興」プロジェクト

例：西陣葎屋町・堀川地域振興プロジェクト。地域の福祉・伝統文化の継承と創生など試みながら、国の内外や若い世代とも交流する。2017 年度に発足。

### 3. 「ウエルビーング社会を目指す」プロジェクト(仮称)

例：「女性学・ジェンダー学の成果と課題」、「ライフプランニング講座」(男女の新しい生き方によるライフステージごとの課題について考え、改善をはかるなど)

### 4. 「グローバル日本研究・京都研究」プロジェクト

例：「文化庁京都移転、オリンピック・パラリンピック開催を視座に、地球規模の視点から日本について、京都について考える」プロジェクト (当機構発足以前からの有志の取り組みがある。「明治維新 150 周年記念事業」「大航海時代と日本研究」など。

### 5. 「環境と文化を考える」プロジェクト

例：「世界水フォーラムを考える」、「平和と環境と文化を考える」